

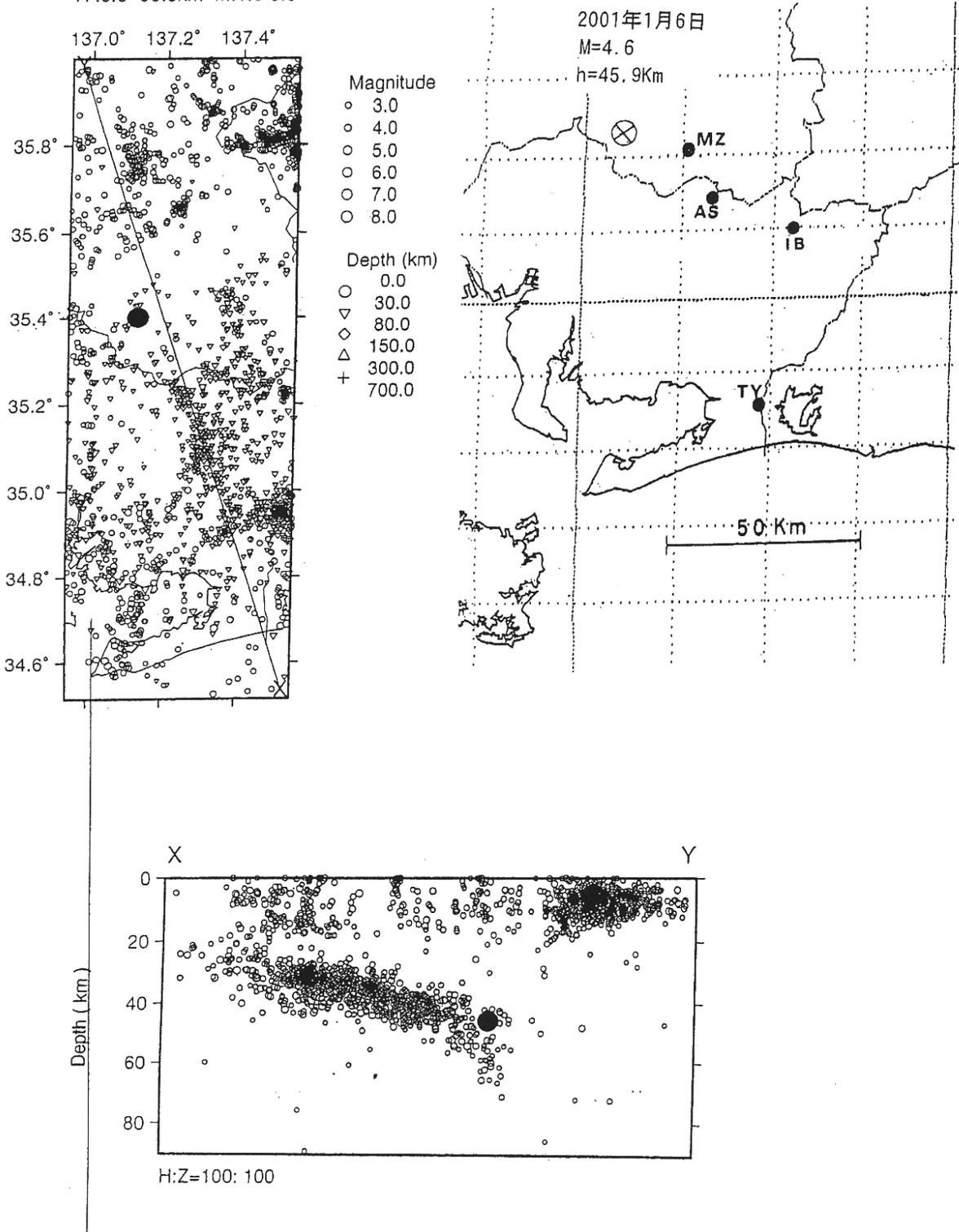
6-4 2001年1月6日の岐阜県南東部で発生した地震 (M=4.6) 前後の地殻変動
**Crustal Deformation observed before and after the Southeastern part of
Gifu prefecture earthquake (M=4.6, January 6, 2001).**

名古屋大学理学研究科
Graduate School of Science, Nagoya University

2000年1月6日に岐阜県の南東部でM=4.6の地震が発生した。震源の深さは約46kmで、地震が発生した位置は、名古屋大学理学研究科の東海地殻活動総合観測線の北端部で、同時に東海地域に潜り込んでいるフィリピン海プレートの先端部に位置する(第1図参照)。第2図と第3図に震源近くの観測点の歪み変化を示す。この地震が発生したのは、降雨が少ない冬季であり、歪変化の乱れはあまりないS/N比のよい時期であった。

第3図から分かるように、震源に近い瑞浪観測点では、地震に伴うストレインステップと、余効変化が観測されたが、地震の前兆的变化は特に認められなかった。

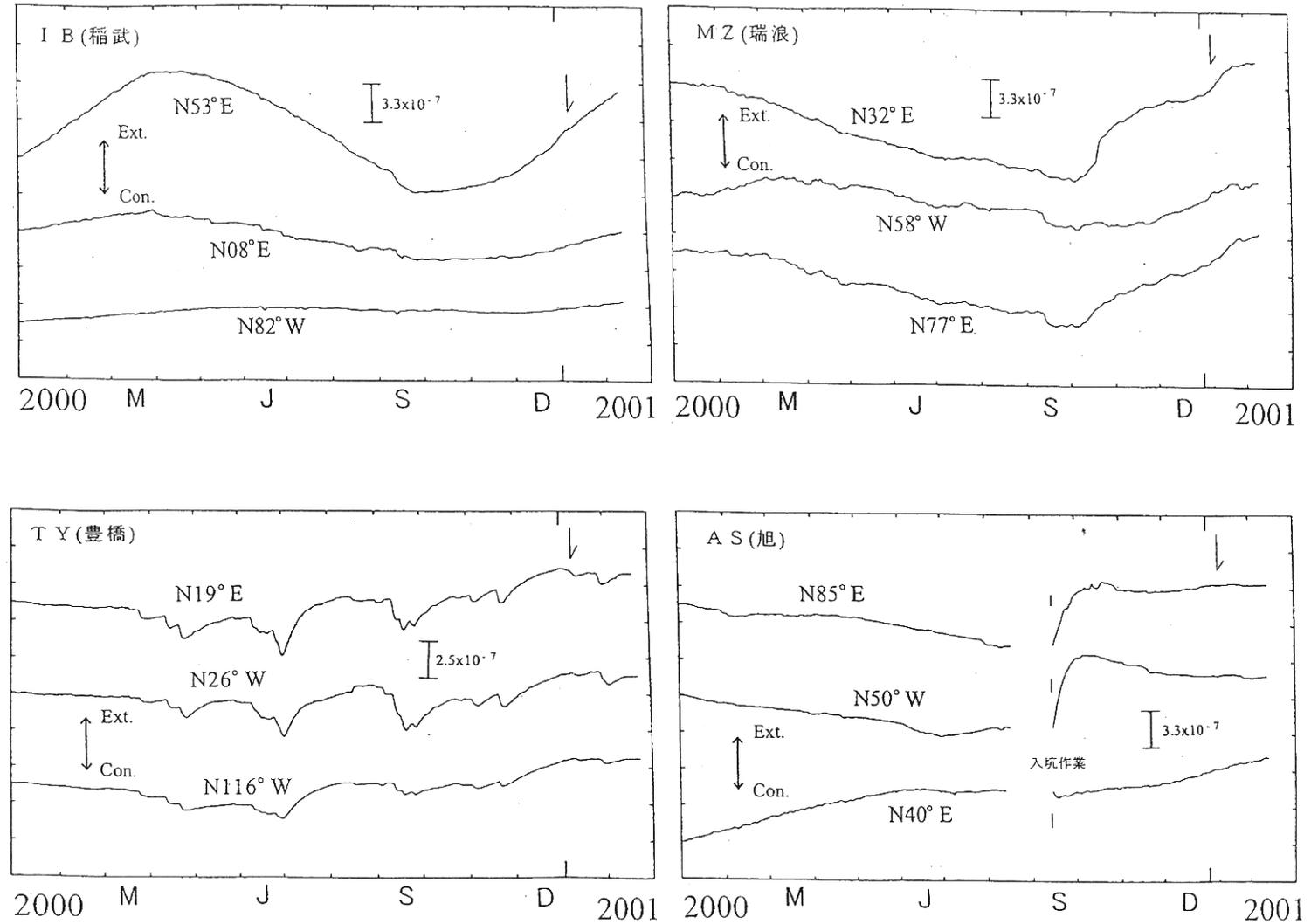
1997/02/01 00:00-2001/01/31 24:00 N= 2218
 H:0.0- 90.0km M:1.0-8.5



第1図 地震の震央と観測点の位置。

Fig.1 Location of observation stations and the epicenter.

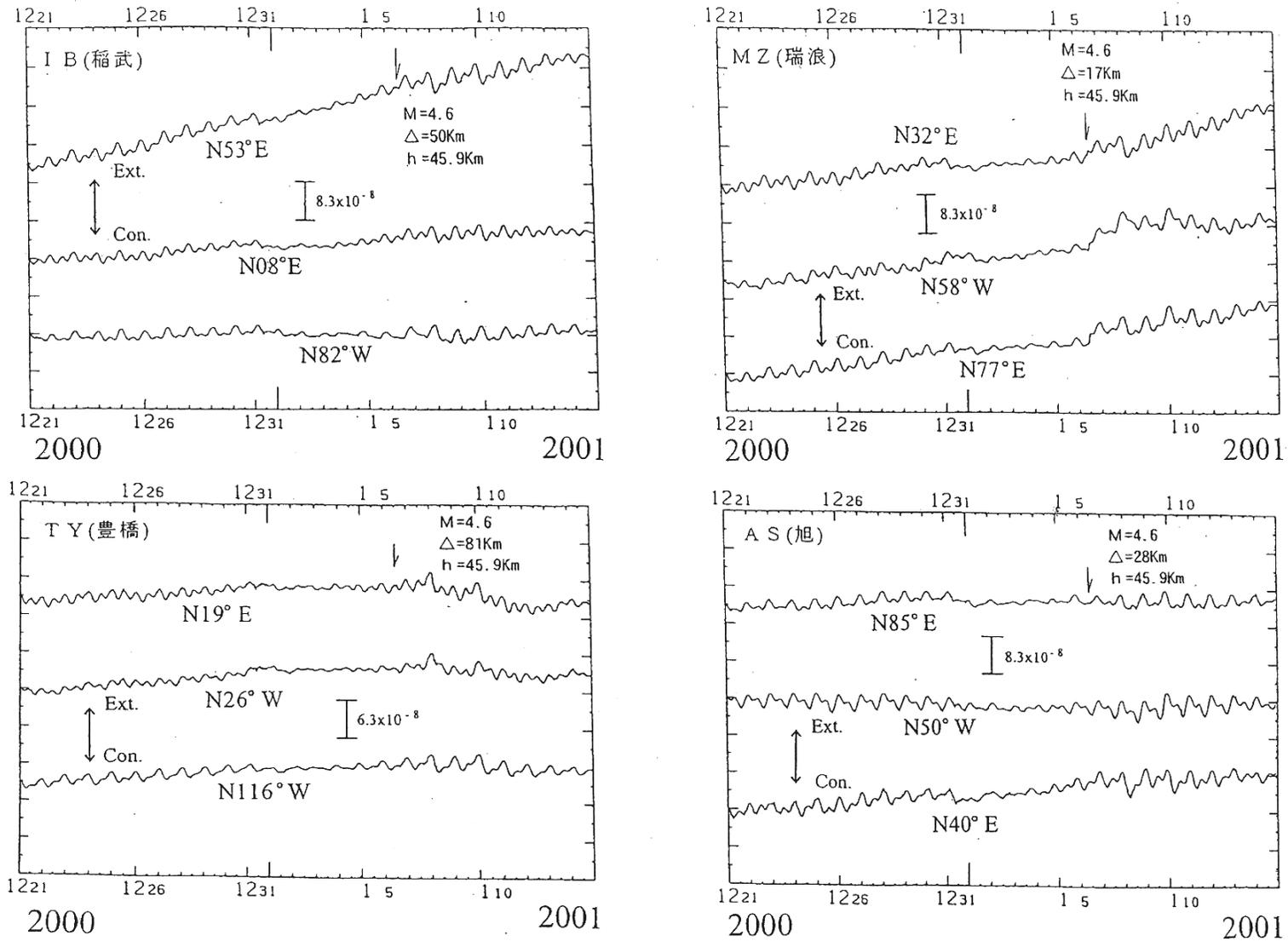
東海地殻活動総合観測線の連続記録(1)



第2図 伸縮計で観測された歪み変化。

Fig.2 Strain changes observed by extensometers.

東海地殻活動総合観測線の連続記録(2)



第3図 地震前後の歪み変化。

Fig.3 ourly plots of crustal strain before and after the earthquake.